

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S23	施策名	補助金、助成金の見直し			
担当部課	総務部財政課		関係部課	補助金を所管する全課		
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営				
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進				
	法定受託事務の有無	無				
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市補助金等交付規則、各課等が所管する補助金交付要綱				
施策開始の背景、経緯等	平成17年に策定した第3次行政改革大綱の集中改革プランの一つとして位置づけ、その後は、予算編成時の査定を通じて適正化に取り組んできたが、受益者負担適正化の一環として適切な見直しを行う仕組みを整備し、一層の推進を図る必要がある。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 適正な支出となっているかを判断できるガイドラインを作成したため、ガイドラインに沿って既存の補助金については適正化を進め、毎年度チェックする仕組みを整えることで、適正な状態を維持できるようにする。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 補助金を支出する全ての担当課、各補助金の交付要綱等				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) ガイドラインに沿った適切な要綱等に見直し、補助金の公益性、有効性、妥当性、公平性等を担保する。				
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	補助金、助成金の見直し				
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	団体・個人に適用可能なガイドラインを策定し、影響を受ける団体には担当課から説明を行う。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。	ガイドラインについて適宜見直しをはかりながら、補助金要綱の適正な運用を継続する。	
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	
	市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	
目標・成果推移等②	施策に係る取組②					
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績 (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	市民参加数・見込み (延べ) 人	
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ガイドラインを作成し、ガイドラインに基づいて見直しが可能な補助金等の要綱から見直しを行った。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 全部の次長級職員による検討会議においてガイドラインを検討し、作成した。各補助金等の現状や課題を踏まえたガイドラインとなっているので、今後、ガイドラインの適切な運用を行っていく。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ガイドラインを作成し、可能なものから補助金要綱などの見直しを行った。今後、令和4年度中に、見直しの必要な全ての補助金、助成金の要綱等を見直しを行う。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 直接の事業費はないが、補助金の見直しが進むことで、市の支出する補助金等の費用対効果が最大化されると考える。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 決算時期に各課等にチェックシートの作成を依頼し、チェックシートを基にヒアリングを行うことで、ガイドラインの適切な運用を確保していく。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
内部意見への回答		